社食でSDGs

▲ 地産地消ランチを楽しむ社員

2月25日、熊本NOK株式会社の社員食堂でSDGsについて考えてもらうための地産地消ランチが提供されました。

SDGsは持続可能な開発目標の略で、よりよい世界を目指すための17の目標からなります。同社でもSDGsに取り組んでおり、地産地消メニューの提供で、社員それぞれがSDGsに取り組むきっかけにしてもらおうと企画されました。地産地消は食料の輸送距離が少なく、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成に寄与すると考えられます。

この日はとんかつや高菜飯など阿蘇産の食材を使用したメニューを提供。食事を終えた社員は「小さなことから取り組むのはいいことだと思います」と話していました。

社会教育の振興発展に寄与

2月17日、社会教育の推進および振興に功績があったとして、(一社)全国社会教育委員連合と熊本県知事から表彰を受けた安部武夫さん(内牧2区)が教育長のもとを訪れ、受彰を報告しました。

同日、市役所で県社会教育委員連絡協議会による表彰式も行われ、岩下哲郎さん(坂の上)、松下レイ子さん(西3区)、神保京子さん(古神2区)、大和卓也さん(今町)に同連絡協議会の会長も務める安部さんから表彰状が手渡されました。

▲ 安部武夫さん(右)

▲ 左から神保京子さん、岩下哲郎さん、安部武夫さん、松下レイ子さん、大和卓也さん

茶道を通じて礼儀を学ぶ

▲ ちゃんとできたかな?

◀ 緊張したようすでお茶を点てる

3月2日、卒園する年長児が保護者にお茶を点てる「お別れ野点」が、りんどう保育園で開かれ、園児や保護者らでにぎわいました。

りんどう保育園では、礼儀作法を身をもって体得し、感謝や人を敬う心を育むため、年長児が月に2度茶道の稽古をしています。1年間の集大成として開かれた野点では、年長児20人が保護者に振る舞いました。保護者らは、年長児から礼儀作法を教わりながらおいしくお茶とお菓子をいただきました。

長女のじゅりちゃんと参加した西村純さん(古神3区)は「娘の普段見れない姿を見ることができてよかった」と目を細めました。

先生たちもがんばっています

3月17日、阿蘇市教育論文表彰式が市役所で開催されました。

教育論文は市教育委員会が市内の小中学校を対象に初めて募集。教育委員会が審査を務めました。

入選一覧

【学校論文】特選　阿蘇小学校
【個人論文】
特選　内田武瑠（波野小）
　　山方真代（阿蘇中）
準特選　坂田盟夢（一の宮小）

▲ 入選した先生たち

教育への思い後世へ繋ぐ

▲ 科学に関する本などが並ぶ
◀目録を手渡した市原さん（右）

一の宮小図書室の一角に、図鑑や百科事典、科学に関する本などが並ぶコーナー「猪山（いやま）文庫」が整備されました。文庫には2年前に亡くなった故・猪山敬子さんの遺言に基づいて寄贈された50万円で購入した142冊の本が並んでいます。

敬子さんの夫の寶卯（たから）さんは教員として主に阿蘇郡内の小学校で勤務。昭和60年4月から定年退職を迎える昭和63年3月までの3年間は宮地小の校長を務めました。平成28年に寶卯さんが亡くなったあと、敬子さんは夫婦の遺産について、寶卯さんが永年携わってきた教育に役立ててほしいと甥の市原靖隆さん(東1区)に伝えていました。

3月15日、同小で贈呈式が行われ、市原さんから井正文校長に目録が手渡されました。井校長は「大変ありがたい。子供たちも猪山文庫の本を早く読みたいと楽しみにしている」と感謝しました。

全国大会出場者と結果

テコンドー

2022 世界テコンドー プムセ選手権大会
（4/18~25　韓国・高陽市）

U30 男子
翔陽高校2年
　佐藤 太一（一の宮中出身）

ソフトボール

第40回全国高等学校 女子ソフトボール選抜大会
（3/19~22　広島県尾道市）

［熊本商業高校］
2年　吉田 和夏菜（阿蘇中出身）
1年　下村 胡桃（阿蘇中出身）

化石見つかるかな

3月16日、YMCA尾ヶ石保育園の園児12人が、株式会社日本リモナイトの本社工場を訪れ、化石の採掘を体験しました。

火山活動により形成された湖が干上がり、さまざまな成分が長い年月をかけて浸透して地層となったリモナイトからは、アシのような植物の化石が見つかります。

採掘体験は卒園する園児たちに思い出を作ってもらおうと園が企画。年長児6人と年中児6人が参加しました。園児たちは山積みされた加工前のリモナイトから、泥まみれになりながら化石を探していました。

▲ リモナイトの山から化石を探す
▶ 化石についた泥を流す
▼ 化石には枝のようなものが見える

ASO 田園空間博物館（道の駅阿蘇）

浄土寺牧公園

私たちASO田園空間博物館は、設立当初から「阿蘇の魅力を、そこに住む人々と共に発掘し、この地を訪れる人々にそれを伝えることでこの地の新しい未来を創造していく」という活動を続けてきました。

その中で活動の主軸となっているのが地域資源である「サテライト」です。現在、95のサテライトが登録されており、市民の皆さまとともに将来につないでいくための活動を行っています。

「春」真っ只中。とっておきのスポットをご紹介します。一の宮町坂梨の『浄土寺牧公園』です。昔から地域の人々に親しまれ、愛されてきた憩いの場所。阿蘇外輪山から湧き出す湧水に囲まれ、坂梨ふるさと保存会により大切に守られています。

浄土寺牧公園は、坂梨地区の住民の憩いの場として、昭和の時代から親しまれてきました。歓迎遠足や運動会など坂梨小の学校行事の場として使用され、同校閉校後は地域の憩いの場として、お花見を兼ねた桜まつりやグランドゴルフなどのイベントが、地域の人々により行われています。

公園では、芝生周り、階段の上、公園下の駐車場などいたるところで桜を見ることができます。昭和時代から咲いている桜もあり、階段上のものはずいぶん古くから咲いているそう。標高が高いこともあり、他では見られない壮大なカルデラと桜のコラボレーションを楽しむことができます。桜の種類は3～4種あり、特にソメヨシノは病気が少なく良く育つそうです。品種がそれぞれ違うため、色とりどりの桜を楽しむことができます。

平成2年の豪雨災害では土砂崩れが発生。整備されて段々とした地形になったそう。平成24年九州北

上から見た浄土寺牧公園

昭和の浄土寺牧公園

公園の入口には湧水も

坂梨ふるさと保存会の市原副会長（左）と佐藤会長（右）

部豪雨や熊本地震などの災害に見舞われましたが、大きく崩れることもなく、現在でも広いグラウンドを保っています。

グラウンドからはカルデラを見渡すことができます。この広いグラウンドで、お弁当を持って春のピクニックはいかがでしょうか？大人も子どもも走り回れるとても広い芝生があります。阿蘇のおいしい空気を感じ、きれいな桜を眺め、すてきな時間をお過ごしください。

公園の奥には清らかな水が流れており、公園の入口には湧水が湧いています。阿蘇の外輪山から湧き出す、透き通ったきれいな水はとてもおいしいですよ。

清掃や草切りなど、公園は坂梨ふるさと保存会が管理しています。

「今後もこの活動を維持していき、浄土寺牧公園が皆さんに愛される憩いの場所になってほしい」と話すのは保存会副会長の市原巧さん。今後、坂梨小学校の関係者や卒業生向けのイベントを行っていくので地域の人や卒業生にはぜひ参加してもらいたいとのことでした。昔のような賑やかさが戻ってくれればうれしいですね。会長の佐藤富士男さんはこう続けました。「コロナ禍で大変な時期ではありますが、浄土寺牧公園がふるさとへの愛を育み、人と人の絆をつなぐ場所になれば幸いです」。

浄土寺牧公園は標高が高いこともあり、他の場所と比べると桜の開花が少し遅く、天気が良ければ、例年3月末～4月中旬まで色とりどりの桜を楽しむことができます。

阿蘇の他では見られない、カルデラを見渡せるお花見スポット。とてもぜいたくな場所です。

※写真は令和3年春のものです。

■住　所　一の宮町坂梨

■駐車場　あり

■トイレ　なし

詳しくはこちら

サテライト募集中！

「サテライト」とは、市民の皆さまが「地域の宝」として守り続けている自然、景観・風景、歴史・文化のことです。

ASO田園空間博物館では、サテライトを募集しています。興味のある人はお気軽にお問い合わせください。私たちと一緒に元気な阿蘇を創っていきましょう。

問ASO田園空間博物館
☎(35)5077

スタッフ　フランク